

こっこめ通信 12 2007

「早い冬とともに」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

11月上旬は暖かな日が続きましたが、中旬以降は一気に冬の寒さがやってきました。最低気温も10℃近くまで下がり、あわてて暖房器具を引っ張り出し、冬支度を始めてしまいました。昨年の11月も急に寒くなりましたが、今年はそれ以上に寒い11月となっています。今年の冬はこのまま寒いのでしょうか？

そして季節を感じさせる花々もたくさん咲き始めています。晩秋を彩るイソギクは海岸線を黄色に染め、冬の訪れを感じさせてくれるキダチアロエの花もオレンジ色に色づいてきています。イズノシマダイモンジソウの花が麓で咲き始めると今年も残りわずかです。あと1ヶ月やり残したことを片付けましょう！

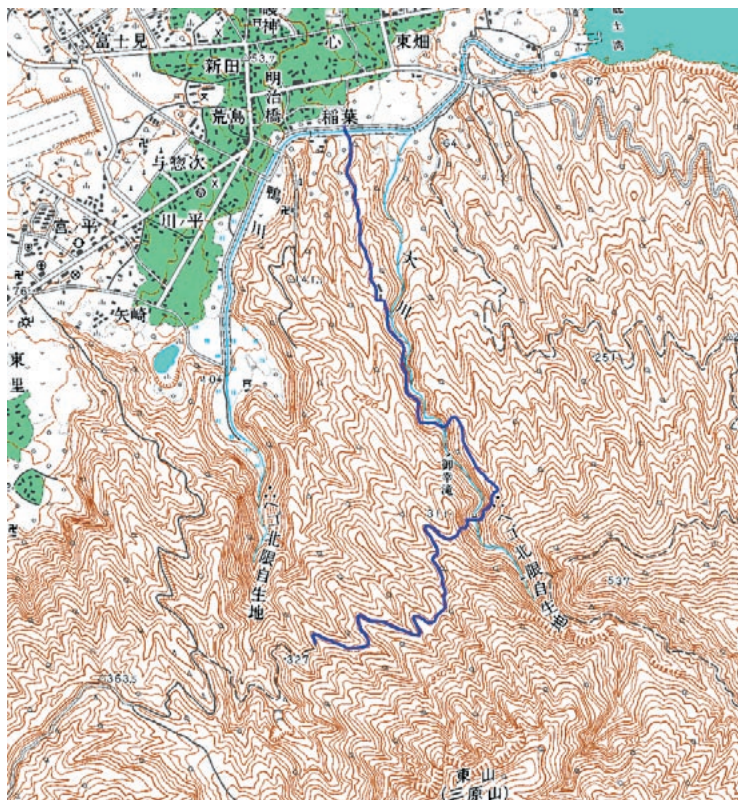
さて今回は、「文化財ウィーク・北限のヘゴを訪ねて」「今月も珍鳥が…」についてのお話です。

文化財ウィーク・北限のヘゴを訪ねて

東京文化財ウィークの企画事業として、シダ植物を中心とした植物観察会と国指定天然記念物のヘゴ北限自生地を訪ねる行事「北限のヘゴを訪ねて」を11月4日に開催しました。

今回は、国立科学博物館名誉研究員の近田 文弘さんを講師にお招きして、大湊浦園地周辺の海浜植物を観察した後、鴨川林道から大川沿いに尾根を下り大川浄水場跡、八木沢橋へ抜ける3.5kmのコースをのんびりと歩きました（下左地図参照）。参加者は9名と少し寂しかったのですが、環境と植物の関係や植物同士の関わり合いなど、普段あまり聞くことのできない研究者の話に聞き入っていました。

来年も文化財ウィークに合わせて行事を企画する予定です。是非参加してみたいはいかがでしょうか？



大湊浦園地にて、トベラの解説中



鴨川林道にて、ヘゴの解説中

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

今月も珍鳥が…

先月に紹介した、いろいろな鳥たちは島から旅立ってしまったのか、あまり姿を見かけなくなってきました。

そして、今月は先月以上にいろいろな鳥の情報が入っています。そのほとんどがあまり島に渡ってくることのない鳥ばかり、中には初記録のものもあります。

「ユキホオジロ」は、島に勤務する坂戸宏敏さんが東側のアライケ付近で観察、撮影されたものです。この鳥は、ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の極北部で繁殖し、冬鳥として北海道などに渡ってくる鳥です。もちろん八丈島では初記録の極めて稀な鳥です。（1976年には小笠原の父島で観察の記録があります。）情報を頂いた後に探してみましたが、残念ながら確認することができませんでした。

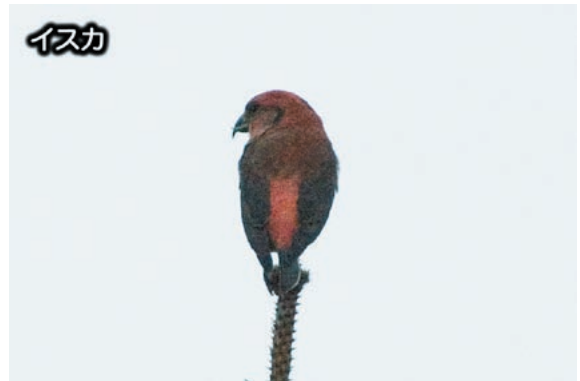
「イスカ」は、冬鳥として稀に島に渡って来ます。松の種子を食べるためにクチバシが上下に食い違っているのが特徴、「物事が食い違って思うようにならないことのたとえで“イスカの嘴（はし）”」と言われています。今回はユキホオジロを探している時、クロマツの枝の上で11羽の群れを確認しました。

「ノゴマ」は、北海道などでも繁殖し、本州を南下して、インドシナ半島やフィリピンで越冬します。雄は喉の赤いのが特徴です。何かに激突して衰弱しているのを保護していた方が見たことのない鳥と言うことで知らせてくれました。八丈島初記録の鳥です。

「アカガシラサギ」は、稀に旅鳥として渡ってきますがそのほとんどが春でした。今回は、冬羽に変わっているので、初めはアカガシラサギとは分かりませんでした。南エントランス付近の芝生の上でエサを一生懸命に探していました。エサが多く、人が少ないためか、何日も同じところで餌を食べていました。しかも夢中になりすぎていたせいか、かなり近づいて観察することができました。

「ハギマシコ」は、本州中部以北に冬鳥として渡ってきます。八丈島でも過去に数回記録がありますが、撮影されたのは今回が初めてです。撮影者はビジターセンターでボランティアをしている沖山 美枝子さん、三原山頂へ向かう三原林道三根線を車で走行中に発見、撮影したそうです。

撮影はされていませんが、「オオマシコ」などの目撃もあります。どうやら、カムチャッカ半島やサハリンなど北海道の北から南下する種が島に渡ってきてしまうことが多いようです。今度はどんな鳥の情報が入ってくるか楽しみです。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は11月11日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成19年第10回)参加者・沖山, 黒田, 古謝, 山入端 V.C. 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			33	ノコンギク	花	シダ植物		
1	アオノクマタケラン	赤い実	34	ノシラン	若い実	1	オオタニワタリ	
2	アキノノゲシ	蕾、花	35	ハキダメギク	花	2	オニヤブソテツ	
3	アキメヒシバ	実	36	ハチジョウアザミ	花	3	カニクサ	
4	アシタバ	実	37	ヒナギキョウ	花	4	コハナヤスリ	
5	アシボソ	実	38	ヒナタイノコズチ	花と実	5	シチトウハナフラビ	
6	アツバスマシ	花	39	ヒメクグ	実	6	スギナ	
7	イヌタデ	実	40	ヒメジソ	実	7	タチク라마ゴケ	
8	イヌホオズキ	花と実	41	ヘクソカズラ	熟した実	8	タチシノブ	
9	イワニガナ	花	42	メヒシバ	実	9	タマシダ	
10	ウスベニニガナ	花	43	ヤクシソウ	花	10	ナチシクシダ	
11	ウリクサ	花と実	44	ヤハズソウ	実	11	ナンカイイタチシダ	
12	エダウチチヂミザサ	実	45	ヤブマオ	実	12	ノキシノブ	
13	オオアレチノギク	花	46	ヨモギ	花	13	ハカタシダ	
14	オオバコ	花と実	木本			14	ハチジョウカナワラビ	
15	オニタビラコ	花				15	ハチジョウシダ	
16	オヒシバ	実	1	イヌビワ	実	16	ハチジョウベニシダ	
17	オムナグサ	花と実	2	オオバヤシャブシ	実	17	ヒトツバ	
18	カタバミ	花と実	3	オオムラサキシキブ	色づいた実	18	ヘラシダ	
19	カラムシ	実	4	ガクアジサイ	実	19	ホシダ	
20	コゴメスゲ	実	5	シマクサギ	実	20	ホラシノブ	
21	コセンダングサ	花と実	6	スダジイ	実の虫こぶ	21	マツバラン	
22	コブナグサ	実	7	センダン	熟した実	22	マメツタ	
23	シチトウスミレ	花と実	8	ツルグミ	蕾と花	23	ミゾシダ	
24	シバ	実	9	トベラ	実	24	ヤマイタチシダ	
25	シロノセンダングサ	花と実	10	ハゼノキ	実が残る	25	ワラビ	
26	ススキ	実	11	ハチジョウイボタ	実	今回はシダ植物も含め88種の植物を観察しました。		
27	セイヨウタンポポ	花	12	ハチジョウキブシ	実と花芽			
28	タチスズメノヒエ	実	13	ヒサカキ	固い蕾			
29	チチコグサ	花	14	ヒメユズリハ	熟した実			
30	チヂミザサ	実	15	ホルトノキ	実			
31	ツルソバ	花と実	16	ヤツデ	花			
32	ツワブキ	花、盛り	17	ヤブツバキ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ノコンギク」にスポットを当ててみたいと思います。



ノコンギク *Aster ageratoides* var. *ovatus*

キク科の多年草。花は白や薄紫、9月～11月頃に島中の日当たりのよい場所でたくさん見られる花です。

伊豆諸島のノコンギクは海岸型のハマコンギクとされています。ハマコンギクは、葉が卵形で厚く光沢があることや花の色が白っぽいことなどの特徴があります。島の中のノコンギクはいろいろなタイプがあり、整理がつくまではビジターセンターではノコンギクとしています。

写真はハマコンギクの特徴の表れているものです。

2007 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 年末年始特別行事 09:23 02:36 20:56 15:28	 31 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」 09:48 03:07 22:15 16:35		 この色の日は 特別行事があります			 1 ガイドウォーク 10:44 03:18 21:16 16:30
2 ガイドウォーク 11:31 04:10 23:17 18:13	3 12:18 05:12 19:26	4 01:23 06:27 13:02 20:13	5 02:46 07:40 13:43 20:50	6 03:41 08:41 14:21 21:23	大雪 7 04:25 09:31 14:56 21:55	8 ガイドウォーク 05:03 10:12 15:29 22:27
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 05:39 10:47 16:01 22:59	 10 06:13 11:20 16:32 23:32	11 06:46 11:51 17:04	12 07:20 00:06 17:37 12:24	13 07:54 00:41 18:13 13:00	14 08:30 01:18 18:53 13:42	15 ガイドウォーク 09:09 01:57 19:41 14:33
16 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」 09:49 02:40 20:44 15:37	 17 10:32 03:28 22:13 16:53	18 11:18 04:25 18:11	19 00:13 05:37 12:08 19:18	20 02:08 07:02 12:59 20:16	21 03:31 08:23 13:51 21:07	冬至 22 ガイドウォーク 八文学講座 「巣箱を架けよう」 04:34 09:30 14:41 21:56
23 ガイドウォーク 05:26 10:24 15:30 22:43	 24 ガイドウォーク 06:12 11:10 16:18 23:27	25 06:54 11:51 17:04	26 07:31 00:10 17:49 12:30	27 08:03 00:51 18:33 13:09	28 08:32 01:29 19:16 13:50	29 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」 08:58 02:04 20:02 14:35

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
12/9（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別行事

「リースを作ろう」

毎年恒例、クリスマスやお正月に合わせていろいろなリースを作りましょう！
12/16（13:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座

「巣箱を架けよう」

毎月行っている八文学講座。今月は、公園内にシジュウカラ用の巣箱を架けます。
12/22（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

年末年始特別行事

「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえばこれ！ て～こ、はたきにおじゃれ！
12/29～1/3 ビジターセンターの開館中（9:00～16:45）
いつでも・だれでも・無料

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター

2007.12.1 第79号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

今年は「鳥」が熱い！次から次へといろいろな鳥がやってきます。でも本当は来たくて来たわけではなく、辿り着いたといった感じでしょうか。「この先どうすればいいのだから…」鳥の顔を見るとそんなつぶやきが聞こえてきそうです。（高）